

協議会だより

発行 ◆ 第五地区住民自治協議会 / 会長：小林 忍 編集 ◆ 総務広報部会 広報委員

令和8年度 評議委員会(総会)を開催

～令和8年 4月24日(金) ホテル信濃路～

第五地区住民自治協議会の令和8年度総会を開催しました。

来賓には、長野市地域活動支援課 荻原 正資課長(写真)にご出席いただき、ご挨拶をいただきました。

議事に入り、令和7年度は、通常の行事を進めてきた報告があり、決算についてもほぼ予算内に消化したことが報告されました。

令和8年度の事業計画と予算についてもバス料金の高騰等がありますが、個人負担増をお願いするなど、福祉計画にもあるように、『「安心にて暮らして」いくには！交流の場を「広げ」「作り」人を知ろう！』をスローガンに、予算を工夫しながら組み立てて、参加しやすい企画を計画していく旨の提案があり、承認されました。



役員の交代では、岡田町区長 川井清司さん(健康福祉環境部会長)と、南石堂町区長 須田荘一郎さん(総務広報部会長)、中御所区長 浅池富栄さん(生涯学習青少年育成部会長)が退任されました。



◆◆ 会長あいさつ

第五地区住民自治協議会 会長 小林 忍



第五地区住民自治協議会会長の小林 忍です。

本年度は、各町の役員の入れ替わりがあり、総会以降新しい体制でのスタートとなります。皆様のご協力をお願いします。

第五地区の特徴では、昨年度から建設が始まりました「北石堂町」の大型マンションの建設工事が進んでいます。建設にあたっては、建設母体である「東京建物(株)」の担当者と、北石堂町の役員による打ち合わせを何回か行い、自治会への加入チラシを地域活動支援課の課長を中心に作成し、併せて自治会への加入PRとして北石堂町を紹介する「プロモーションビデオ」も作成してきました。

このことは、第五地区及び北石堂町区として初めての経験と対応になりましたが、無事進めることができ、区に加入される世帯が100%になることを期待しています。

第五地区の活動報告につきましては、「協議会だより」などで、皆さまにお知らせしておりますが、健康福祉環境部会など、4つの事業部会を中心に、計画に沿ってほぼ順調に推移しました。

さて、第五地区では、「交流の場を広げ・作り・人を知ろう」をテーマに活動していますが、計画した視察研修などに初めての方が、ご参加いただけるようになって来ていると思いますし、思い切って参加されることも期待しています。このことは、防災の基本になると考えています。更に参加しやすく、魅力のある行事を計画していきます。

他にも、私どもが暮らしている第五地区では、市内中心地区ですが、少子高齢化による人口減少対策、空き家問題など課題が山積しております。

どうか皆さまのご支援・ご協力を賜り、認め合い、活かし合いながら、共に生きていく地域社会を目指して、取り組んでまいります。

皆さまの、より一層のご協力・ご支援いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

事業計画

第五地区のキャッチフレーズである『誰もが、何時でも、居心地よく』を基本とし、お互いに支え合い、安心して暮らせる『まちづくり』を目指すため、4つの部会がそれぞれの事業計画に沿って活動します。

総務広報部会

部会長 山本 茂二
(南石堂町 区長)

当協議会の活動を広く住民や他地区に理解いただくための広報活動を行い、併せて企業・学校・商工会等との連携を図り「交流の場を広げ・作り人を知ろう」を目指す事業を実施します。



- 広報活動の充実（協議会だよりの発行等）
- 視察研修の実施
- 5地区合同の連絡会議の開催など
- 福祉のまちづくりの推進
- 企業・学校・商工会との連携事業の推進開催
- 各部会活動の連携調整 など

安全防災部会

部会長 伊藤 善啓
(末広町 区長)

安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、交通安全・防災・防犯関係の事業を実施します。



- 防災訓練の実施
各町ごとの訓練実施へ
- 防災グッズ等の整備（拡充）
- 防災研修の実施と小学校との連携実施
- 自主防災委員会・防犯協会による安全なまちづくりの推進の活動
- 交通安全、犯罪防止研修会の開催
- 防災士資格取得補助で防災士の増員を図る
- 要支援者の避難行動等の仕組み作り など

健康福祉環境部会

部会長 水井 睦夫
(岡田町 区長)

「思いやりの心で集う美しいまちづくり」を目指し、住民の福祉健康に関する事業や、地区の環境美化に関する活動を実施します。



【健康福祉事業】

- 福祉研修会の開催
- 健康づくりに関する事業（ノルディックウォーキングの）開催
- 中心5地区「地域たすけあい事業」の推進
- 福祉のまちづくりの推進
- 生活支援体制整備事業の推進 など

【環境美化活動】

- 裾花川河川敷清美の実施
- ゴミ分別・収集に関する業務及び事業の実施
- ゴミ処理、分別収集に関する研修会の開催
- 資源物リサイクル活動の実施 など

生涯学習青少年育成部会

部会長 林 孝
(中御所 区長)

次世代を担う青少年の育成や、人権意識の高揚のための啓発活動を行うため、家庭・学校・地域の連携事業、生涯学習推進、世代間交流、人権教育、文化・スポーツ事業を実施します。



- マレットゴルフ・ノルディックウォーキング等のスポーツ大会の開催
- 人権教育研修の開催
- 生涯学習、青少年に関する視察研修の開催
- 各町（育成会等）体育事業用具等補助
- 住民との交流を推進するため各種行事を企画実施
- 地域の子育てを見守る活動を充実
- お祭り等伝統行事継承補助金（祇園祭等）の拡充で町の活性化を図る
- 他地区との交流を図る（カヌー教室） など



令和7年度決算

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【収入の部】			
(単位 円)			
大項目	中項目	予算額	決算額
1 公的補助金	地域いきいき運営交付金	9,946,000	9,946,000
	補助金	1,500,000	1,598,864
2 負担金	地区負担金	1,123,030	1,123,520
3 諸収入	雑収入	150,500	110,711
4 繰越金	前年度繰越金	1,758,943	1,758,943
収入合計		14,478,473	14,538,038

【支出の部】			
(単位 円)			
大項目	中項目	予算額	決算額
1 事務局費(共通経費)	人件費・会議費他	5,728,600	5,642,441
2 事業費	総務広報部会	780,000	642,092
	健康福祉環境部会	1,130,000	887,017
	安全防災部会	760,000	415,460
	生涯学習青少年育成部会	1,980,000	1,529,143
3 配分・委託料等	各区への配分・委託料他	3,890,000	3,974,810
4 繰出金	運用資金(災害等基金)	0	0
5 予備費		209,873	0
支出合計		14,478,473	13,090,963

収入総額	14,538,038円
支出総額	13,090,963円
差引残高(令和8年度へ繰越)	1,447,075円

令和8年度予算

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

【収入の部】		
(単位 円)		
大項目	中項目	予算額
1 公的補助金	地域いきいき運営交付金	10,470,000
	補助金	1,500,000
2 負担金	地区負担金	1,123,030
3 諸収入	雑収入	160,000
4 繰越金	前年度繰越金	1,447,075
収入合計		14,700,105

【支出の部】		
(単位 円)		
大項目	中項目	予算額
1 事務局費(共通経費)	人件費・会議費他	5,955,000
2 事業費	総務広報部会	710,000
	健康福祉環境部会	1,010,000
	安全防災部会	780,000
	生涯学習青少年育成部会	1,360,000
3 配分・委託料等	各区への配分・委託料他	3,930,000
4 繰出金	2運用資金(災害等基金)	200,000
5 予備費		755,105
支出合計		14,700,105

収入予算総額	14,700,105円
支出予算総額	14,700,105円
差引残高	0円

健康福祉環境部会

地域たすけあい事業連合会役員会

第一から第五地区の中心5地区「地域たすけあい事業」連合会の令和8年度役員会が開催され、事業報告・決算・予算について承認されました。

地域たすけあい事業は、中心5地区に住む高齢者、障害をお持ちの方等が、日常生活でこまった時に、地域住民で有償ですが、家事援助サービスや医療機関への福祉移送サービスの事業です。もしもの時は、下記の電話へご相談、お問い合わせください。

協力会員募集!

たすけあい事業の需要は年々増加しており、病院などの送り迎えや、家事援助などの、協力員を募集しています。熱意がある方であれば年齢経験は問いません。(下記の電話へ)

(地域たすけあい事業事務局 TEL 238-2820)

		第一地区	第二地区	第三地区	第四地区	第五地区	合計	協力会員
家事援助	登録者数	8	31	18	10	8	75	19
	利用件数	28	148	95	7	39	318	
福祉移送	登録者数	35	95	29	24	13	196	5
	利用件数	421	720	252	111	107	1,611	

(令和7年度実績)

柏崎刈羽原子力発電所と上越火力発電所見学 ～大切な電気について知ろう～

5月29日（金）、柏崎刈羽原子力発電所（東京電力）と上越火力発電所（東北電力）を34名で見学・研修を開催しました。

今年の春、3月18日から再稼働した「柏崎刈羽原子力発電所の6号機」がある、柏崎市と刈羽村の原子力発電の仕組みを紹介している研修棟で説明を受け、展示会場でも説明をして頂きました。

1号機から7号機までである原子炉は、東日本大震災以降14年間運転を停止していました。安全が確認された6号機だけの運転が開始された訳です。この6号機だけの発電（135.6万Kw）で、山梨県クラスの電気を賄うそうです。



午後は、上越市にある上越火力発電所（59.9万Kw）で、説明と建物内（安全点検中）を見学できました。火力発電の主な目的は、原子力・風力・太陽光発電等の発電量の不足部分を補う調整役を担っているそうです。

2つの発電所とも、あまりに大きな設備に驚きながら、発電の仕組みや発電の量などの調整をお聞きし、質問がたくさん飛び出し、予定時間を大幅に超える研修となりました。



各町のお知らせ

中御所より

第10回ながの獅子舞フェスティバルに出演

次世代への伝統芸能の継承と世代を超えた交流を目指し「ながの獅子舞フェスティバル」が、5月3日に善光寺表参道を中心に、心配した天候にも恵まれ開催されました。



第五地区では唯一自前で保存活動をしている、中御所「九反太々神楽保存会」が、第1回から連続出場しています。

4月初旬から練習を重ねた役者が舞・太鼓・笛の鍛えた腕を観衆に披露しました。1回目は、トイゴ広場前で、2回目は県信第2本店前で大勢の観客が見守る中、二頭が優雅に舞を披露し、観客の皆さんから盛大の拍手をいただきました。小さな子供さんも、獅子頭に触れたり、おんべ・鈴を持ってカメラに収まっていたり。



第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせください。

〒380-0833
長野市大字鶴賀権堂町2201番地20
権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)
メール dai5@feel.ocn.ne.jp